

令和4年度福岡医療短期大学 歯科衛生学科同窓会会員（卒業生）へのアンケート

歯科衛生学科 23 期生 (R3 年度卒)：卒業生 59 名にアンケートを郵送、回答 35 名

R5 年 1 月 郵送 回答期間 R5 年 2 月～3 月末

1. 全体概要

歯科衛生学科 23 期生の 59 名に Web アンケートを依頼した。回答数は 35 名（回答率 59.3%）でした。回答結果から、本学の教育内容については、概ね満足または十分であると考えられた。特に、短大で充実すべきとの回答が多かった項目は、歯科診療補助関連のエックス線技術、研磨技術、インプラント・ホワイトニング関連、歯科予防処置関連のスクーリング技術、歯科保健指導関連のカウンセリング技術や子どもとの関わり・接し方だった。一方、現在の教育で十分であると回答が多かった項目は、「感染対策」、「合着材・接着材などの取り扱い」、「PCR の記録の採り方」だった。

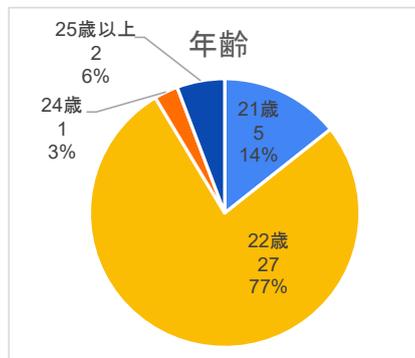
15 種類のジェネリックスキル（汎用的能力）に関しては、対人基礎力と對自己基礎力を身につけたと思う人が多数だった。短大で強化・充実してほしいと思われる能力は、良い行動を習慣として続けられる力と情報を収集・分析して課題を発見する力だった。

歯科保健指導は、就職先と卒業生の両方で充実すべき項目になっている。患者本人への歯科保健指導だけでなく、保護者や介護者などへの歯科保健指導の演習を増やすことを検討したい。

2. アンケート結果

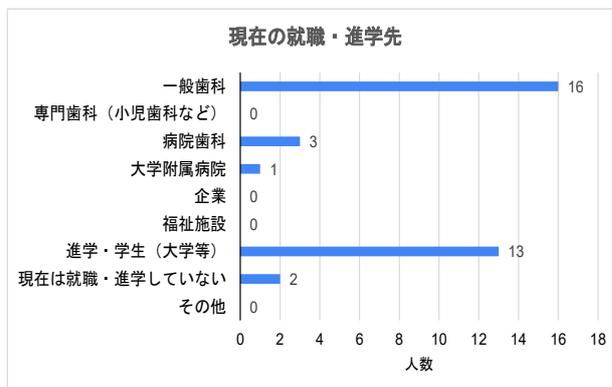
設問 1：あなたの年齢についてお答えください。

21 歳	5 名
22 歳	27 名
23 歳	0 名
24 歳	1 名
25 歳以上	2 名
合計	35 名



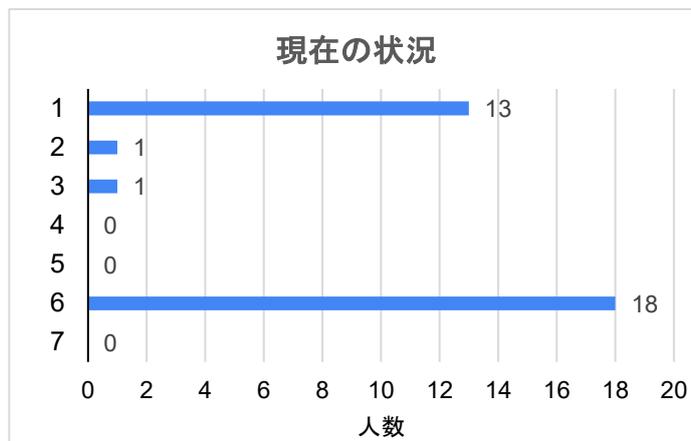
設問 2：現在の就職・進学先についてお答えください。

- 1 一般歯科
- 2 専門歯科（小児歯科・矯正歯科・口腔外科など）
- 3 病院歯科（リハビリテーション病院含む）
- 4 大学附属病院（歯学部附属・医学部附属含む）
- 5 企業
- 6 福祉施設
- 7 進学・学生（大学、短期大学、専門学校 等）
- 8 現在は就職・進学していない
（休職中、家事手伝い、専業主婦 等）
- 9 その他 → 具体的に



設問3-1：現在の状況をお答えください

- 1 卒業してから現在まで
同じ勤務先（施設）で働いている
- 2 最初の職場を退職したが、1ヶ月以内に
歯科衛生士として再就職した
- 3 最初の職場を退職し、
1ヶ月以上離職したが再就職した
- 4 最初の職場を退職し、
その後再就職していない
- 5 一時的に仕事に就いた
- 6 卒業してから就職していない
- 7 その他 →具体的に



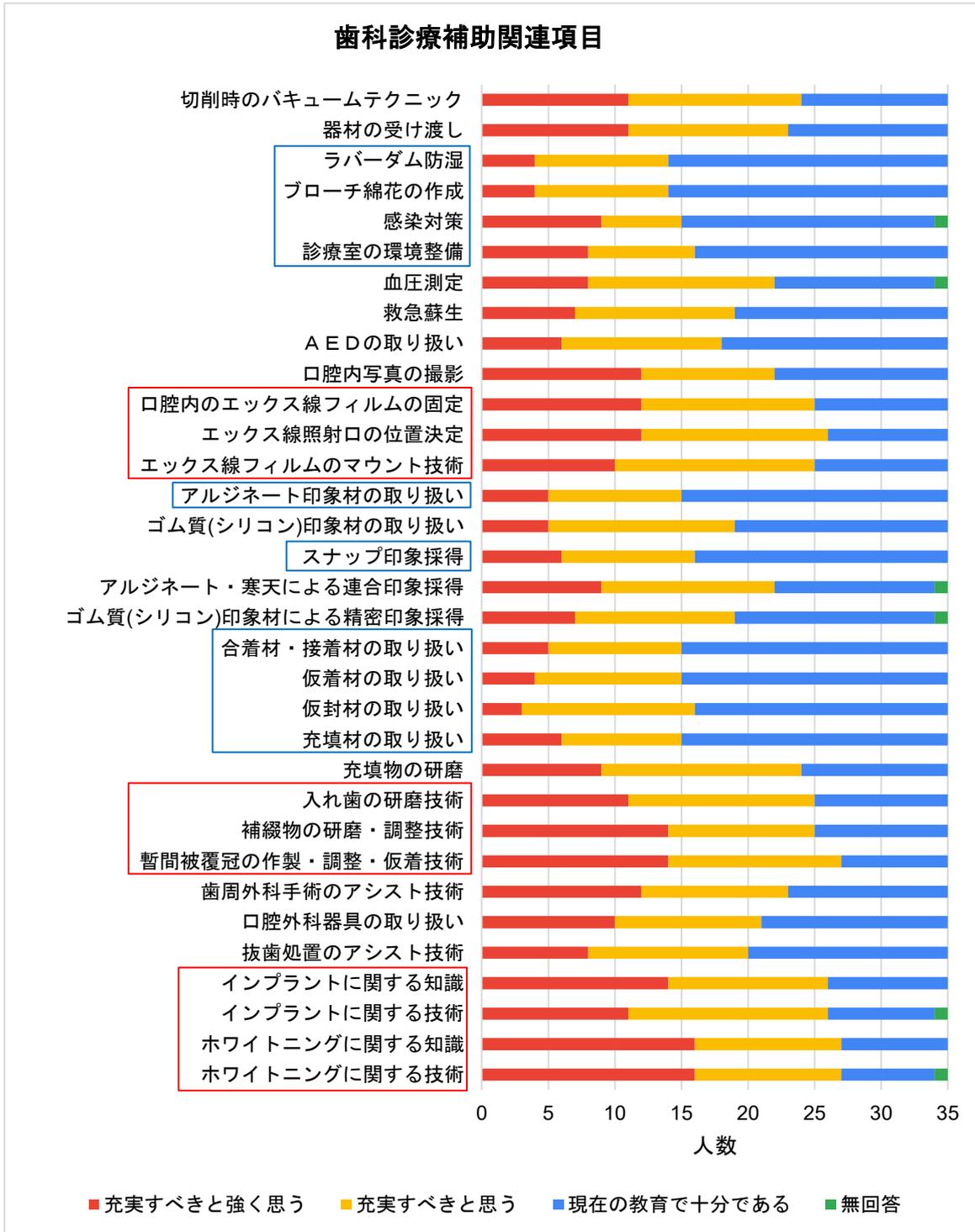
設問3-2：退職理由はなんでしたか

- 医療・福祉領域における「精神的」な負担
- 「人間関係・待遇」などの職場内の問題

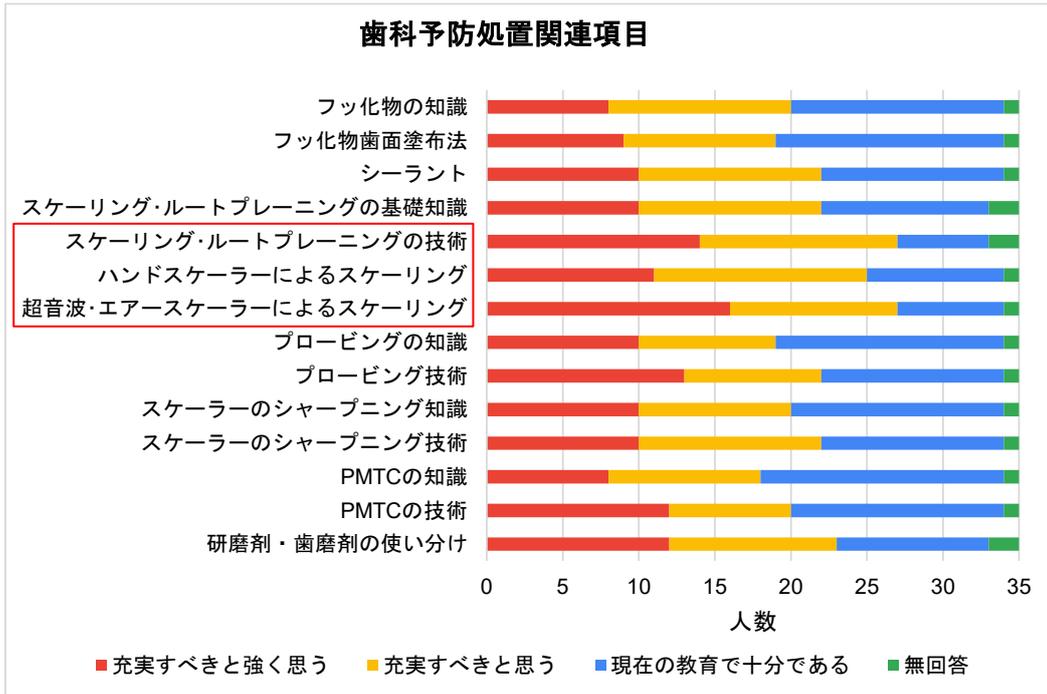
設問4-1：短大で充実すべき歯科診療補助関連の項目についてお聞かせください。

< 歯科診療補助関連項目 >

■は 充実すべきとの回答が多い項目、□は 現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目

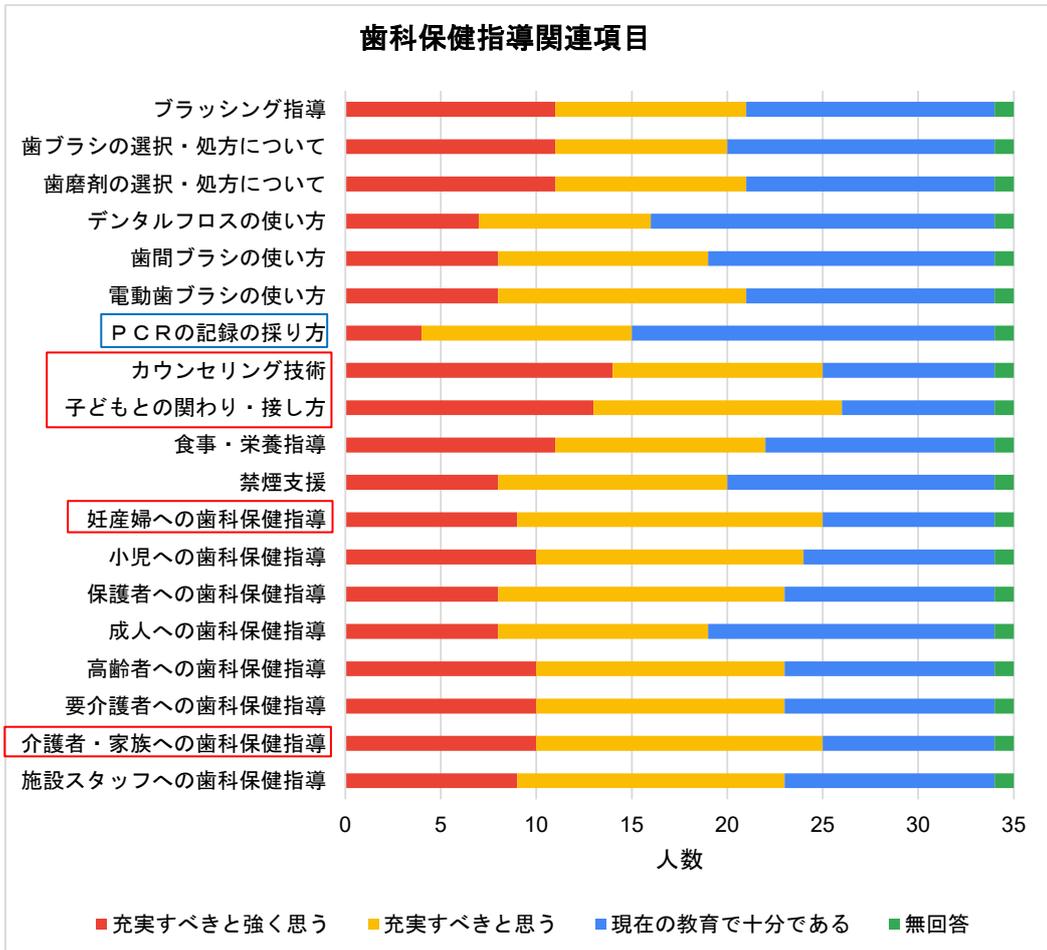


< 歯科予防処置関連項目 > は 充実すべきとの回答が多い項目

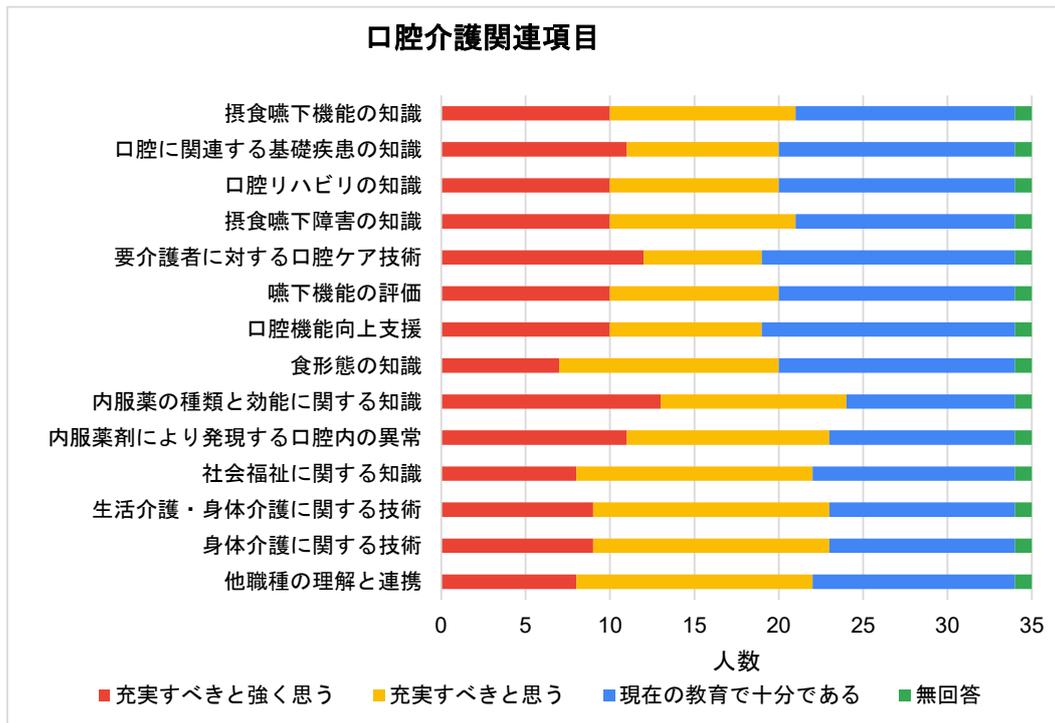


< 歯科保健指導関連項目 >

 は 充実すべきとの回答が多い項目、 は 現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目



<口腔介護関連項目>



設問4-2 短期大学の専門教育の中で強化・充実してほしいと思う能力についてあれば、記入してください。(その理由や取組、教育プログラムのアイデアなど)

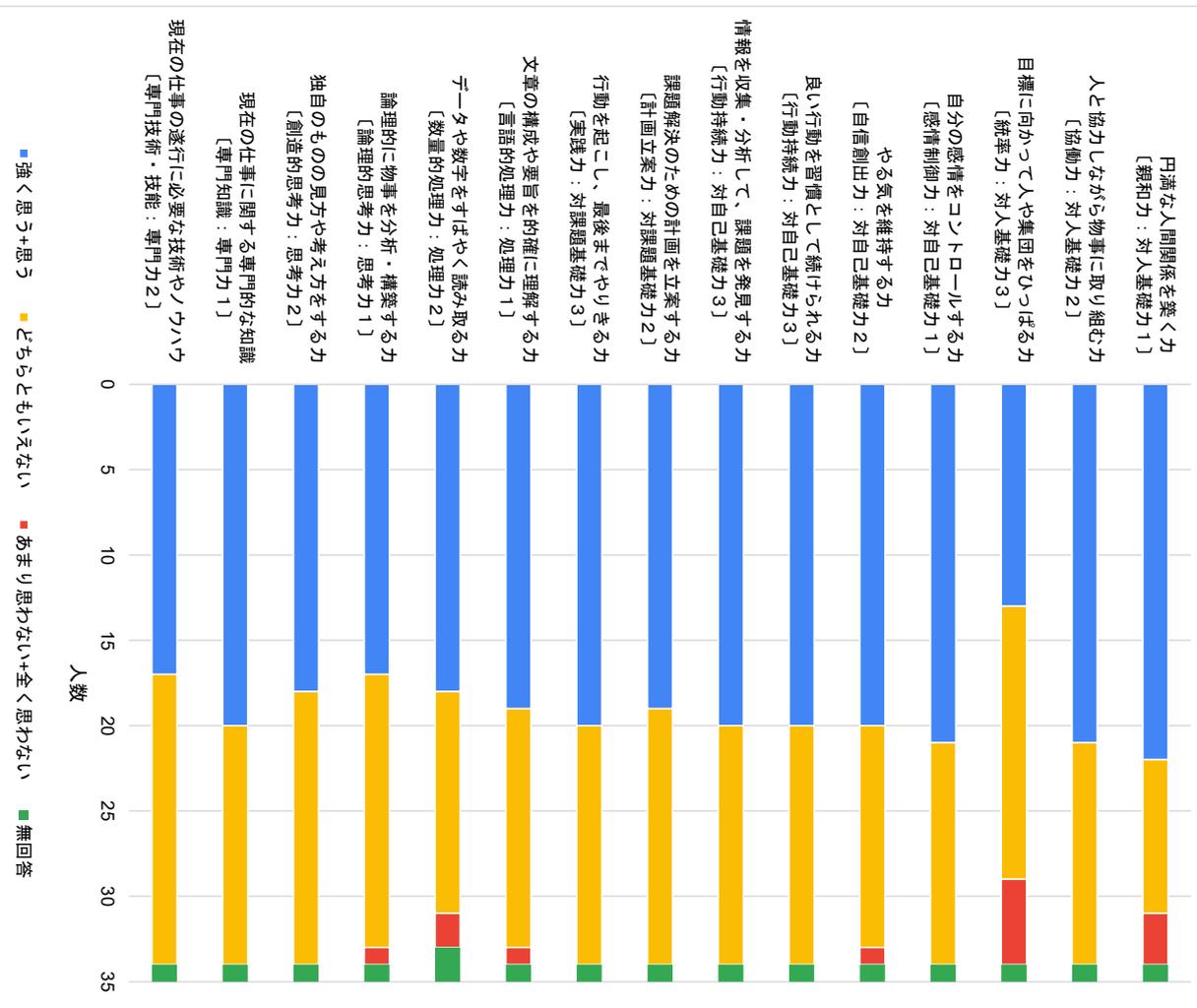
➤ コメントなし

設問5 15種類のジェネリックスキル(汎用的能力)についておうかがいします。

ジェネリックスキル(汎用的能力)

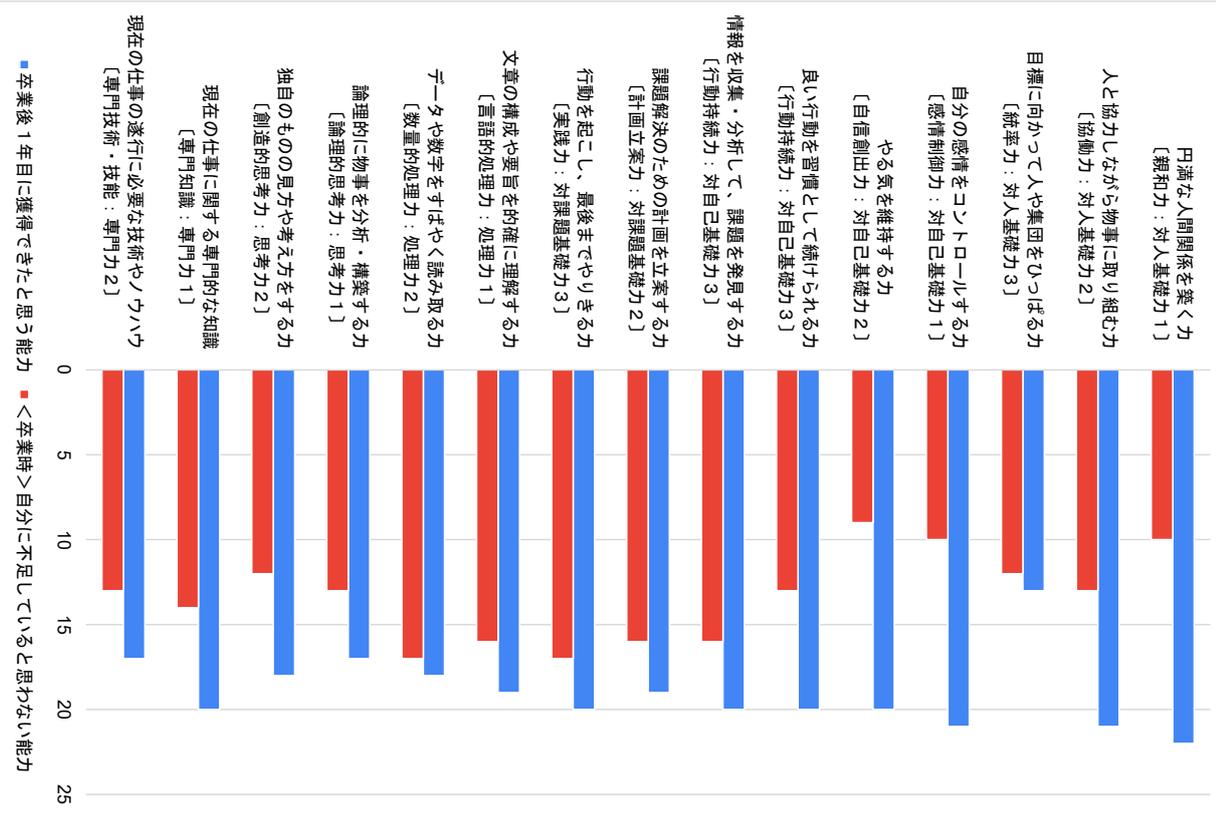
- | | |
|---|--|
| ①円満な人間関係を築く力
〔親和力：対人基礎力1〕 | ⑧課題解決のための計画を立案する力
〔計画立案力：対課題基礎力2〕 |
| ②人と協力しながら物事に取り組む力
〔協働力：対人基礎力2〕 | ⑨行動を起こし、最後までやりきる力
〔実践力：対課題基礎力3〕 |
| ③目標に向かって人や集団をひっぱる力
〔統率力：対人基礎力3〕 | ⑩文章の構成や要旨を的確に理解する力
〔言語的処理力：処理力1〕 |
| ④自分の感情をコントロールする力
〔感情制御力：對自己基礎力1〕 | ⑪データや数字をすばやく読み取る力
〔数量的処理力：処理力2〕 |
| ⑤やる気を維持する力
〔自信創出力：對自己基礎力2〕 | ⑫論理的に物事を分析・構築する力
〔論理的思考力：思考力1〕 |
| ⑥良い行動を習慣として続けられる力
〔行動持続力：對自己基礎力3〕 | ⑬独自のものの見方や考え方をする力
〔創造的思考力：思考力2〕 |
| ⑦情報を収集・分析して、課題を発見する力
〔行動持続力：對自己基礎力3〕 | ⑭現在の仕事に関する専門的な知識〔専門知識：専門力1〕 |
| | ⑮現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ
〔専門技術・技能：専門力2〕 |

卒業後1年目に獲得できたと思う能力

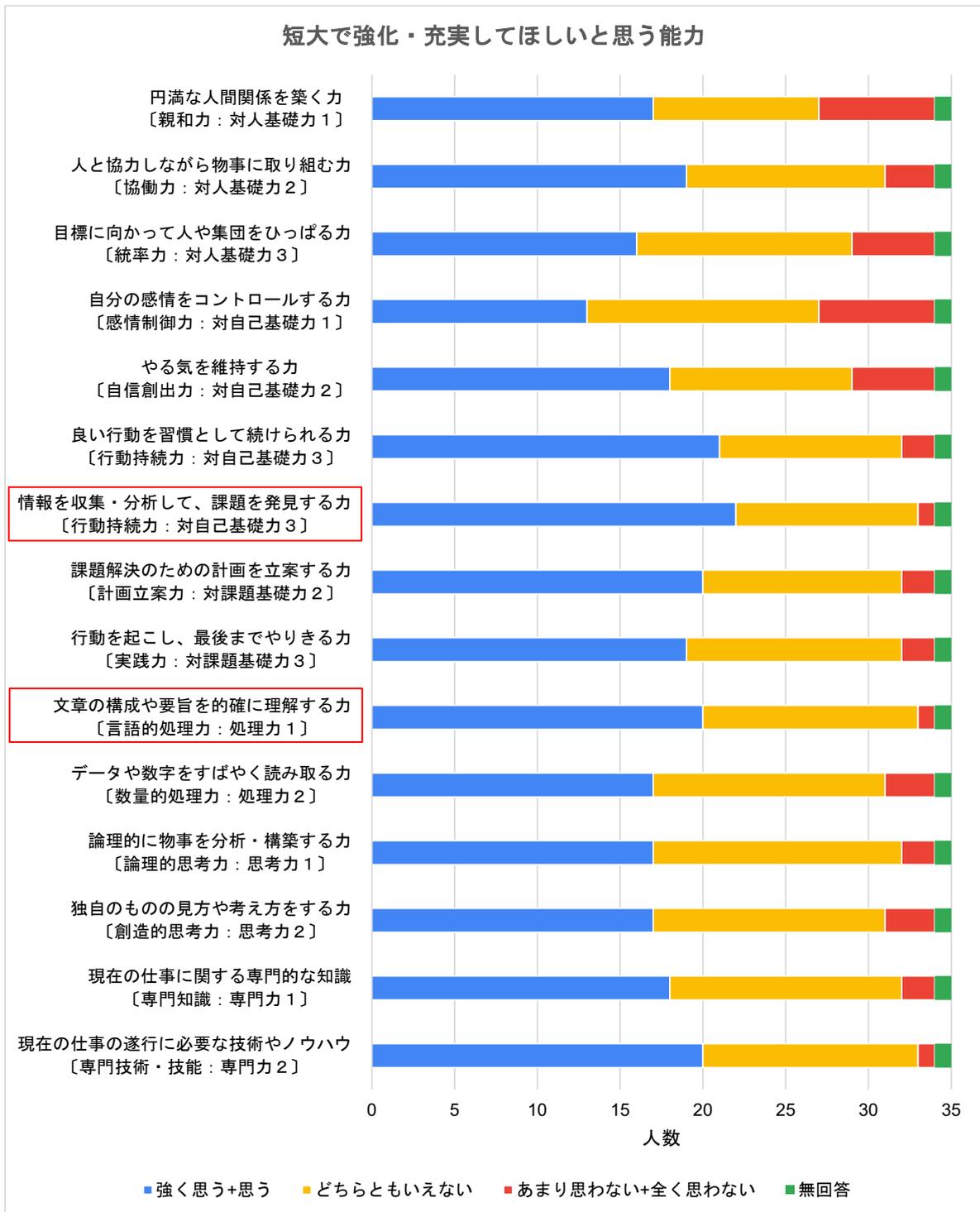


● 卒業後1年目に獲得できなかったと思う能力

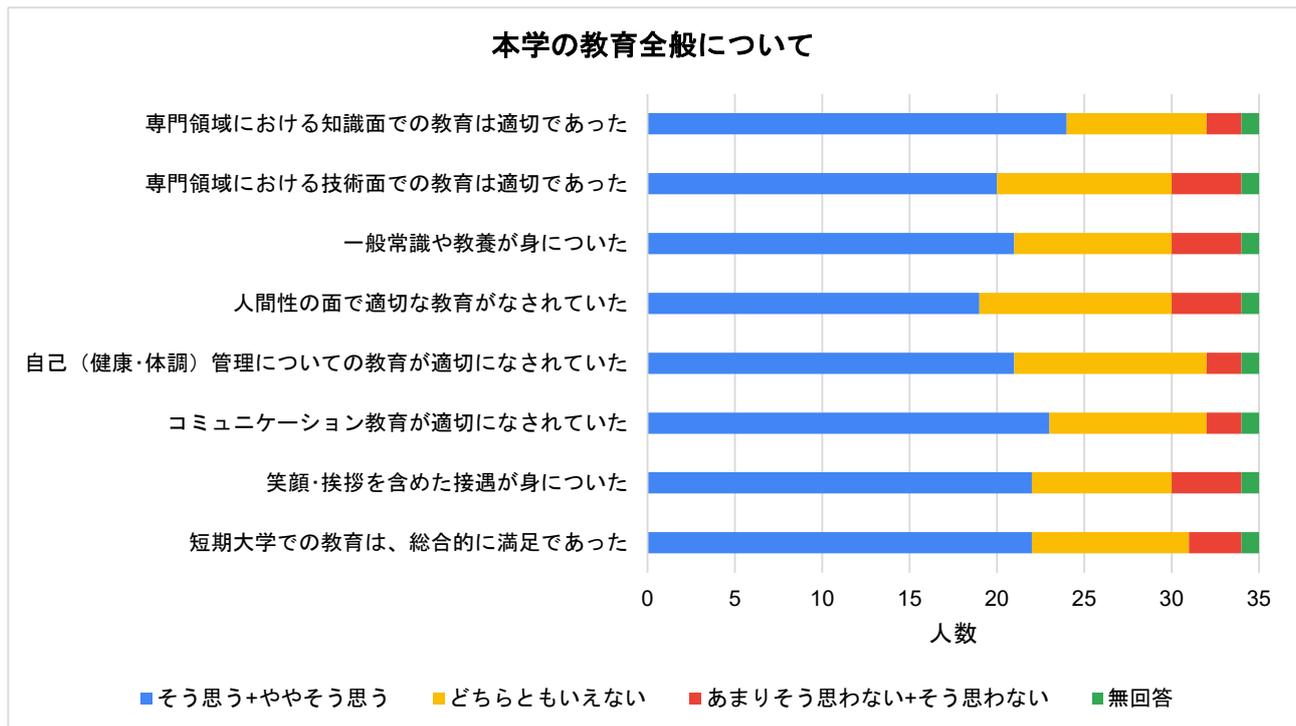
参考：卒業1年目と卒業時に獲得できたと思えた者の比較



● 短大で強化・充実してほしいと思う能力



設問6 本学での教育全般について5段階の選択肢の中から、選んでください。



設問6-1 本学での教育について、意見や要望、提言があれば、詳しくお聞かせください。

- 言葉づかいがよろしくないと感じました。
- 実際に縁下歯石のある患者さんのSRP とかを細かく教えて欲しかった（マニキュアだけではわかりにくいところがある）
- 情報を持っている人はクラスの子達に情報共有をした方がいいと思う。先生のえこひいきがすごすぎる。補習の時に専攻科を使う意味がわからない。授業中の見回りを強化した方がいいと思う。なぜならゲームをしたり動画を見ていたりしている人がいるから。先生方は気づいてないと思いますが学生同士のいじめや陰口が酷いです。

令和4年度福岡医療短期大学 歯科衛生学科 23 期生 (R3 年度卒) の就職先へのアンケート

歯科衛生学科 23 期生 (R3 年度卒) の就職先 28 施設対象 回答 14 施設

R5 年 1 月 郵送 回答期間 R5 年 2 月～3 月末

1. 全体概要

就職先 28 施設に対して行った Web アンケートの結果、14 施設から回答があった。

回答結果からは、歯科衛生学科の教育全般に対して好意的かつ肯定的な意見が多く寄せられた。しかし、いくつかの項目において、特に X 線フィルム関連、スケーリング関連、ブラッシング関連の技術、保護者や介護者への歯科保健指導、内服薬関連については、充実すべきという意見が多かった。さらに介護者や家族への歯科保健指導については、卒業生のアンケートでも充実すべきとの意見があった。

ジェネリックスキル（汎用的能力）では、不足しているという項目は例年通りであった。

歯科医院での採用選考のポイントとしては、将来的に患者様にどのように役立てる歯科衛生士になれるかを具体的にイメージできること、向上心、継続性が重要視されていた。学生に求められる重要な資質・能力としては、患者様に寄り添うこと、歯科衛生士としての専門性、コミュニケーション能力、向上心、協調性、謙虚さなどが挙げられた。

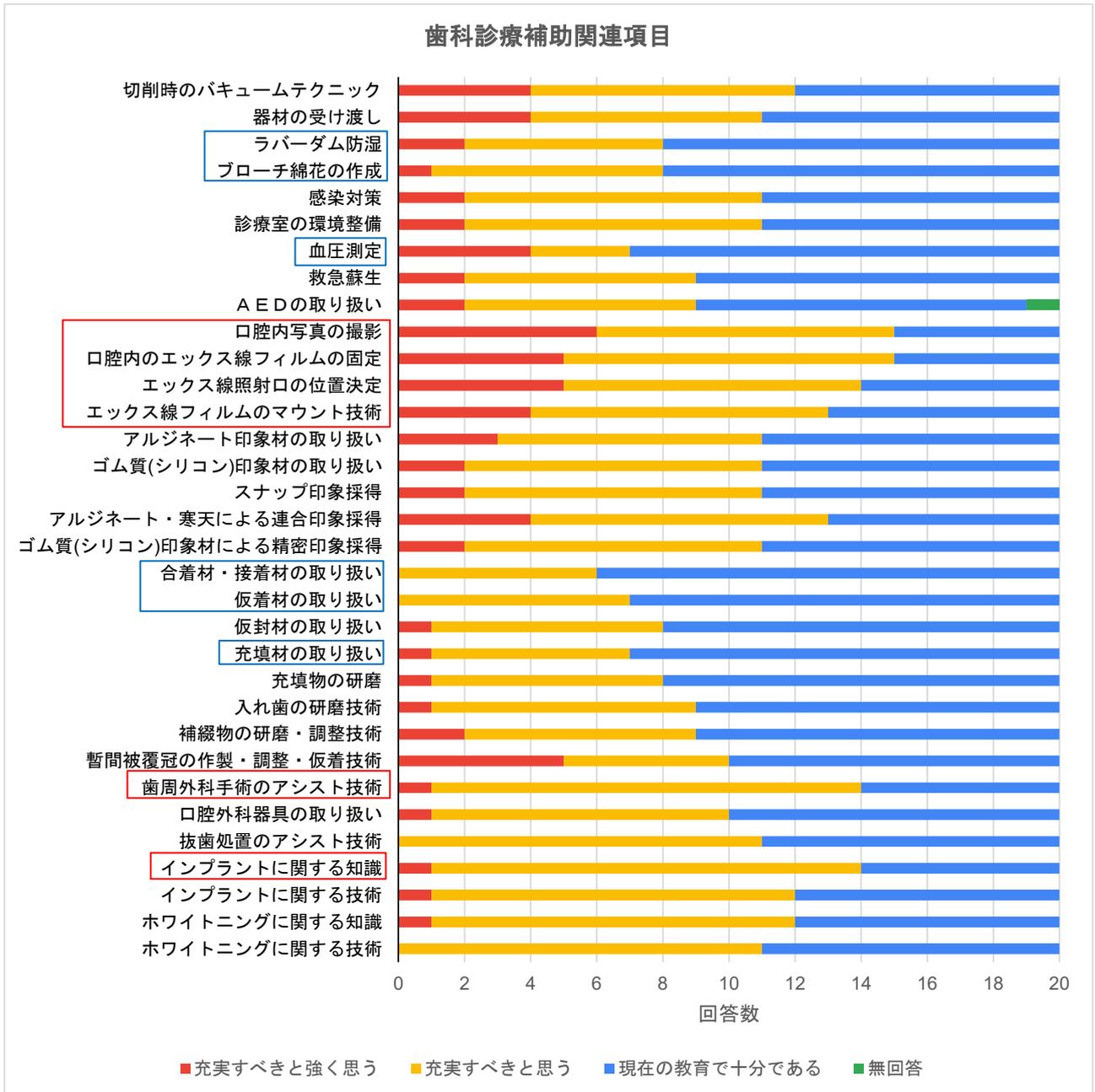
歯科保健指導に関しては、就職先と卒業生の両方で充実すべき項目となっている。患者本人への歯科保健指導だけでなく、保護者や介護者への歯科保健指導の演習を増やすことを提案する。

2. アンケート結果

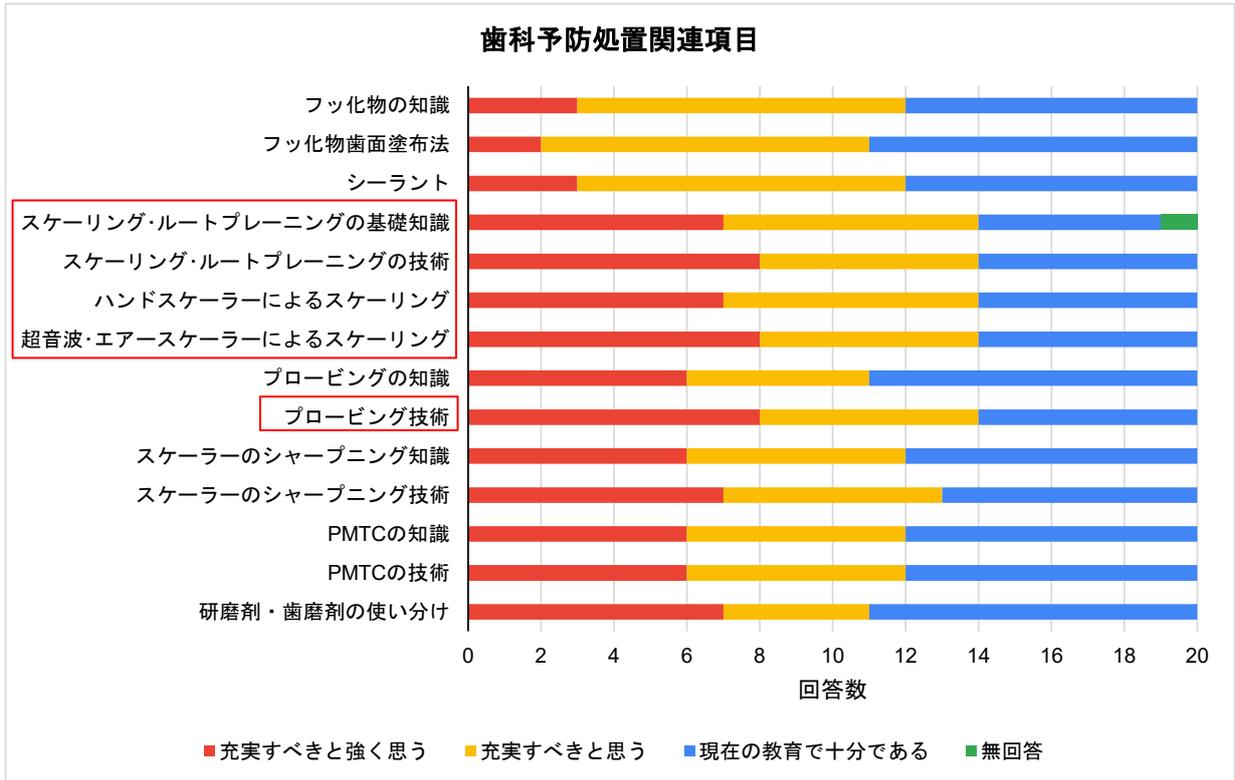
設問1：短大で充実すべき歯科診療補助関連の項目についてお聞かせください。

< 歯科診療補助関連項目 >

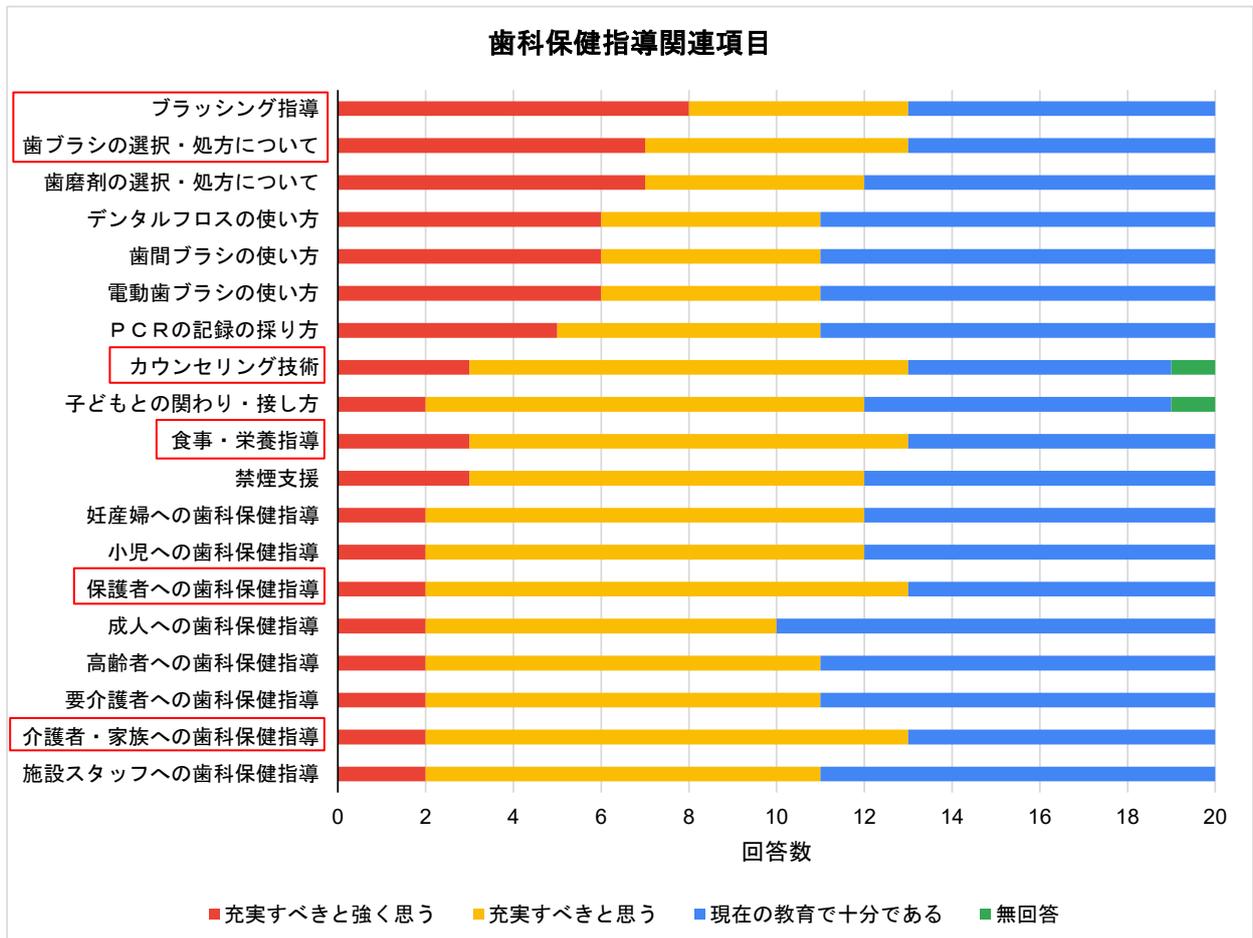
■は 充実すべきとの回答が多い項目、□は 現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目



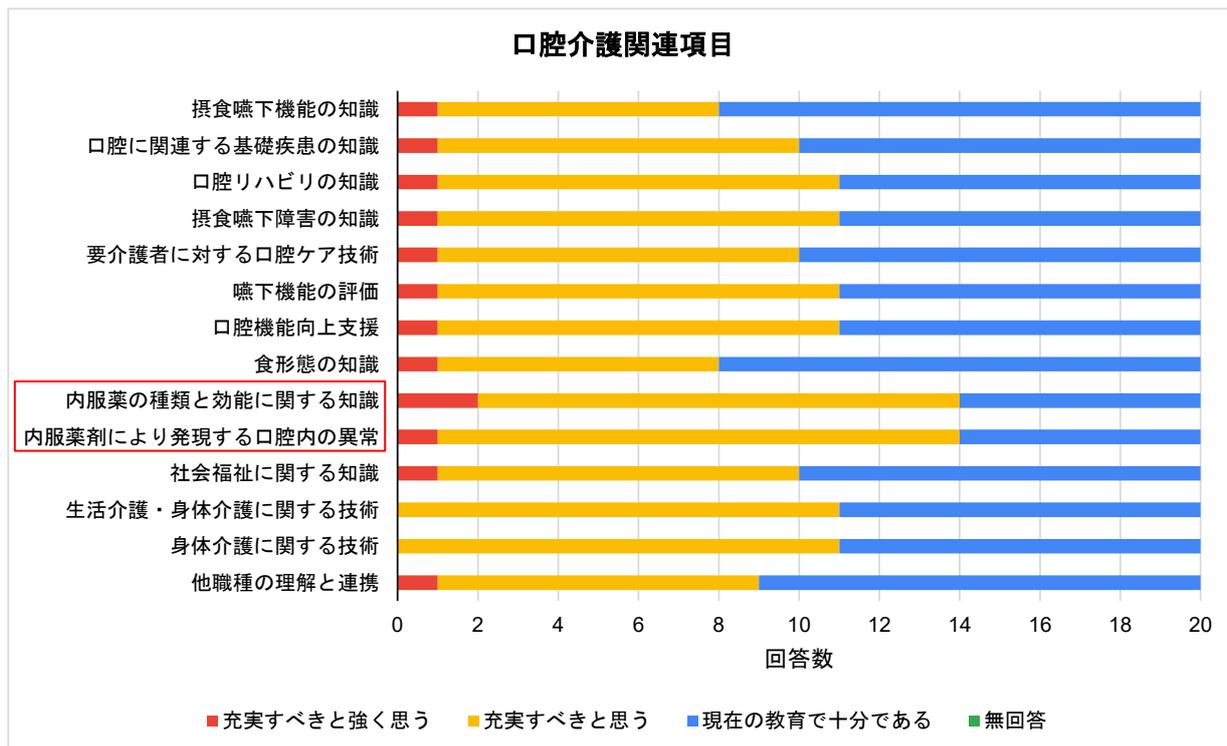
< 歯科予防処置関連項目 > は充実すべきとの回答が多い項目



< 歯科保健指導関連項目 > は充実すべきとの回答が多い項目



<口腔介護関連項目> は充実すべきとの回答が多い項目

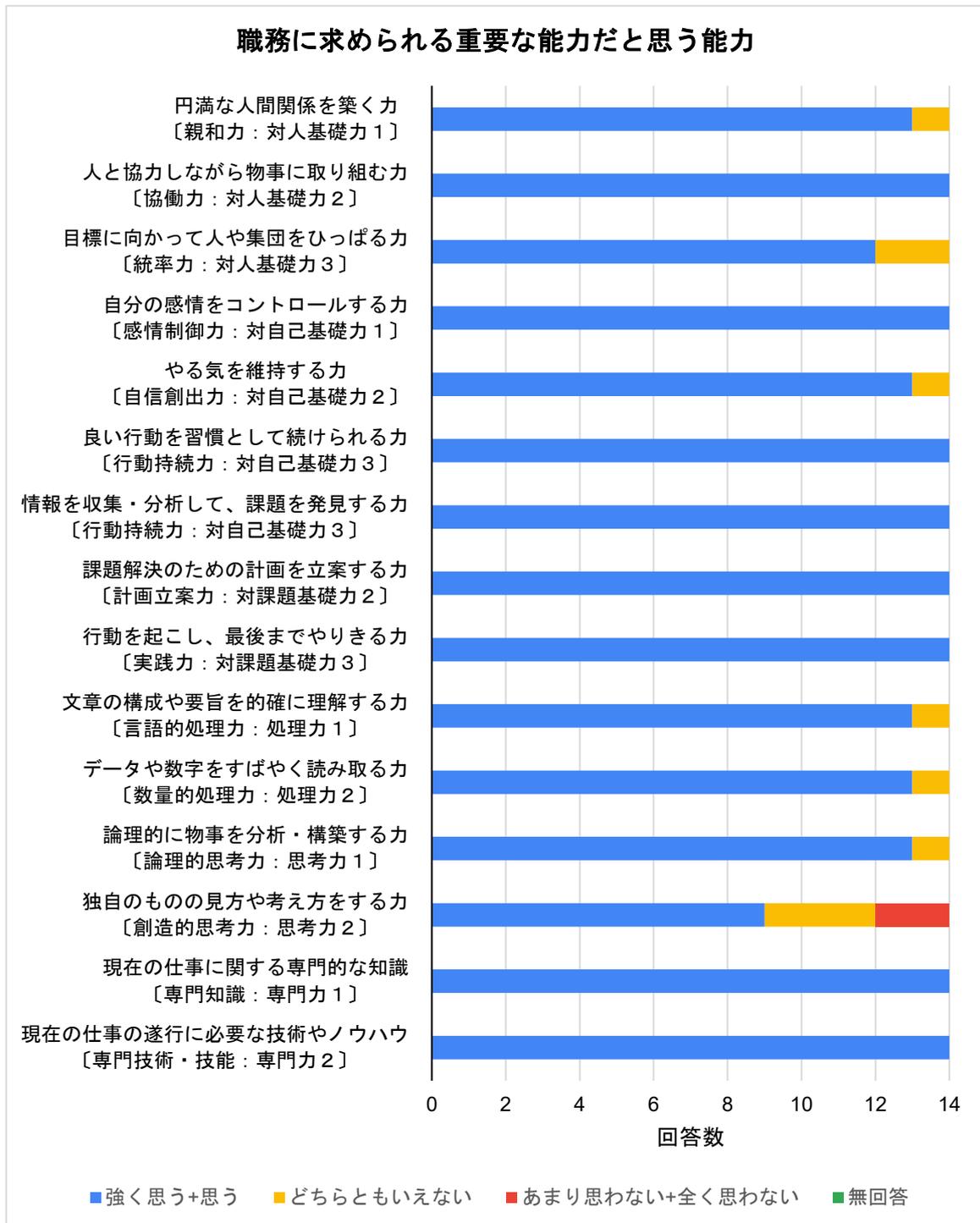


設問2 15種類のジェネリックスキル（汎用的能力）についておうかがいします。

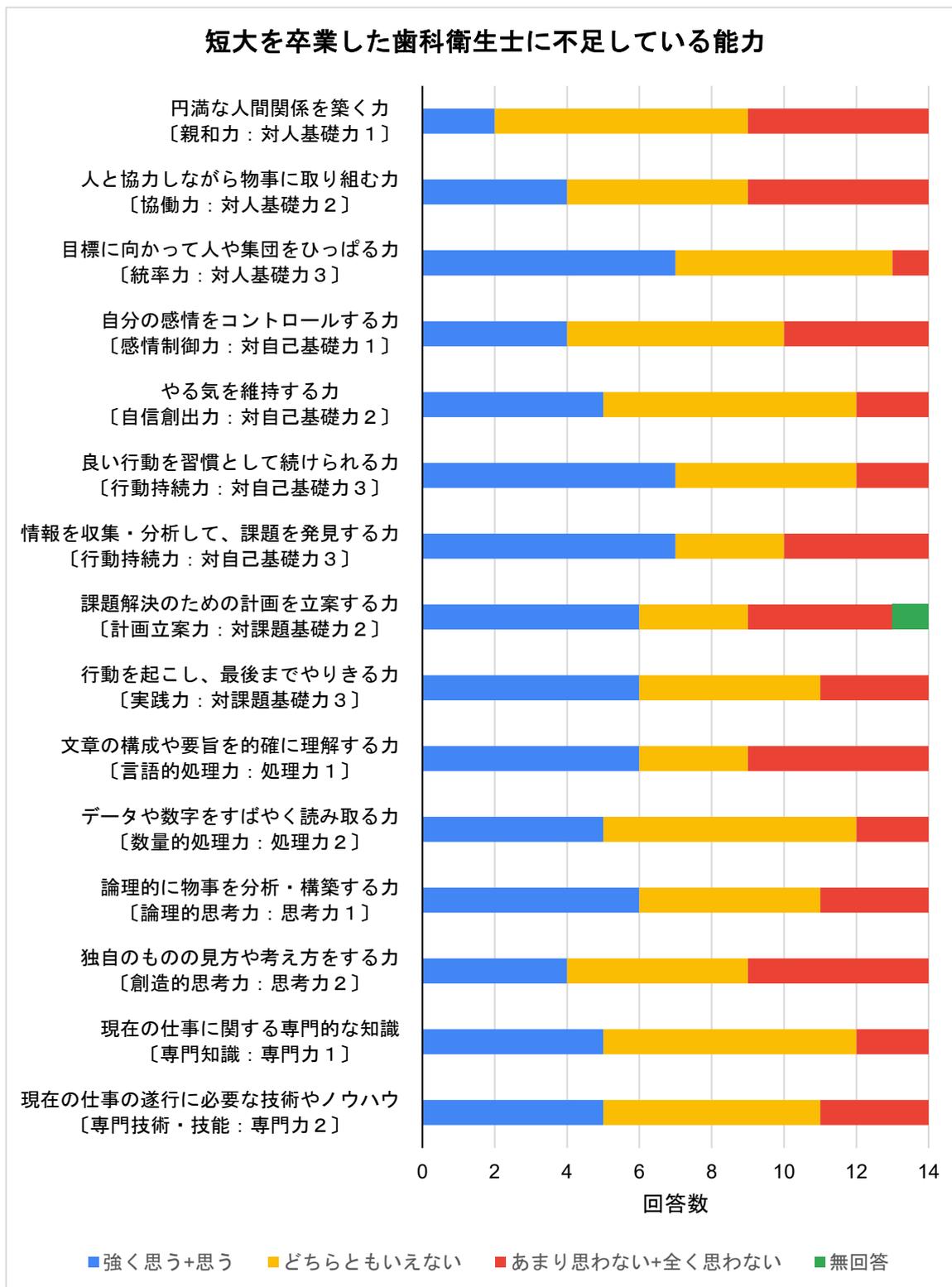
ジェネリックスキル（汎用的能力）

- | | |
|---|--|
| ①円満な人間関係を築く力
〔親和力：対人基礎力1〕 | ⑧課題解決のための計画を立案する力
〔計画立案力：対課題基礎力2〕 |
| ②人と協力しながら物事に取り組む力
〔協働力：対人基礎力2〕 | ⑨行動を起こし、最後までやりきる力
〔実践力：対課題基礎力3〕 |
| ③目標に向かって人や集団をひっぱる力
〔統率力：対人基礎力3〕 | ⑩文章の構成や要旨を的確に理解する力
〔言語的処理力：処理力1〕 |
| ④自分の感情をコントロールする力
〔感情制御力：対自己基礎力1〕 | ⑪データや数字をすばやく読み取る力
〔数量的処理力：処理力2〕 |
| ⑤やる気を維持する力
〔自信創出力：対自己基礎力2〕 | ⑫論理的に物事を分析・構築する力
〔論理的思考力：思考力1〕 |
| ⑥良い行動を習慣として続けられる力
〔行動持続力：対自己基礎力3〕 | ⑬独自のものの見方や考え方をする力
〔創造的思考力：思考力2〕 |
| ⑦情報を収集・分析して、課題を発見する力
〔行動持続力：対自己基礎力3〕 | ⑭現在の仕事に関する専門的な知識〔専門知識：専門力1〕 |
| | ⑮現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ
〔専門技術・技能：専門力2〕 |

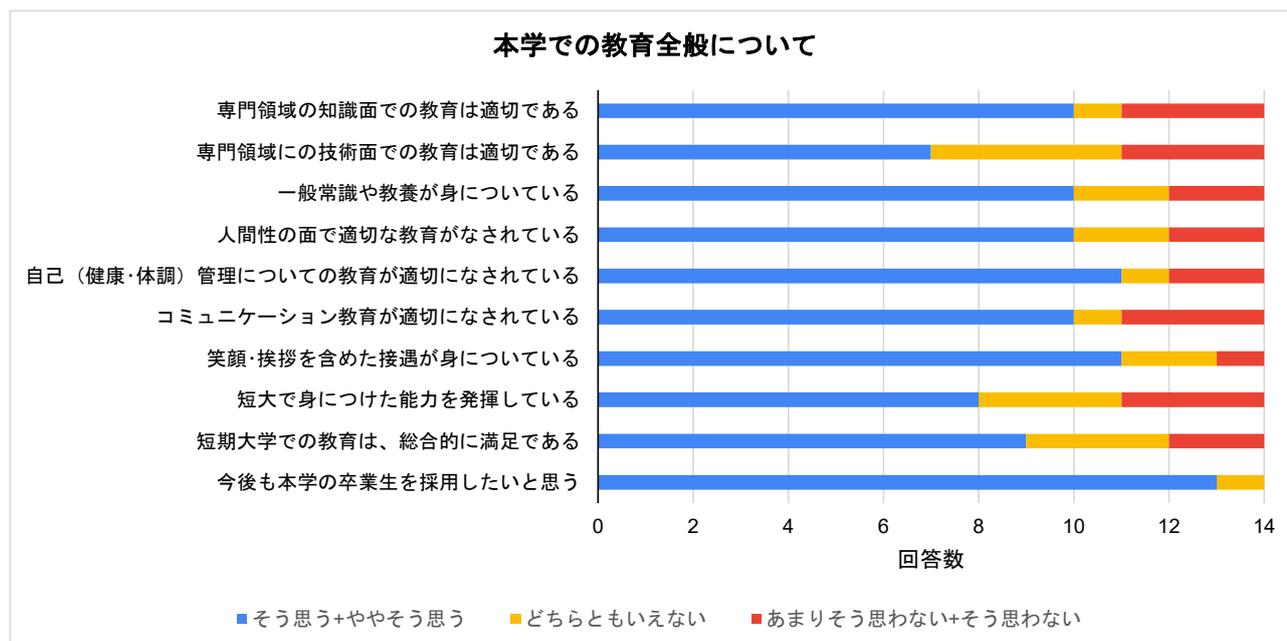
● 職務に求められる重要な能力だと思う



- 短大を卒業した歯科衛生士に不足している能力だと思う



設問3 本学での教育全般について5段階の選択肢の中から、選んでください。



設問4 本学卒業生を採用する理由 や 採用選考のポイント についてお聞かせください。

- 仕事に対する考え方を重視しています。また未来に患者様へどのように役立てるのかを想像でき、衛生士として社会に貢献できる楽しさを伝えていきたいです。
- 福岡医療短期大学卒業生は、歯科知識や技術だけにとどまらず、社会性も十分に教育されている。
- 誠実であるか、向上心はあるか、歯科衛生士の仕事に誇りを持っているか
- 医院が同じ市内にあり出身大学のグループの短大であるため。
- 素直な性格の方が多いと思うので。
- 全身との関わりにおける、口腔医学的な教育がなされていることに共感できるため。
- 実習生として来ていただいているので凄く有り難く思っております。
- 併設する大学病院で実習をしっかりとやられてきているであろうから。採用に際しては歯科衛生士としてやりがいをもって長く働いてくれそうかがポイントです。
- 積極的に吸収、成長が出来るそうか否か。
- 当院の質問に対して明確な回答であるか、挨拶がきちんとできているか、入社後のイメージがあるか、将来どんな DH になりたいかなどの考えを持っているかは重要なポイントとしております。
- 優しさ、思いやりのある方

設問5 学生に求める大切な 資質・能力 についてお聞かせください。また、その理由や育成のためのアイデアなどがあれば、お聞かせください。

- 継続できる力が必要です。最初のうちは仕事はわからないことが多く、楽しくないと思います。それを楽しむには継続して必要なスキルを習得することです。当院では、4月に一年の流れを説明し、この時までにならうという目標を立ててスタートします。そこに対して、十分にできていればさらなる目標をたて、不足していれば、不足を補うためにはどう

すべきかを自分で考えてもらえるように教育しています。

- 自ら学ぼうとする姿勢。向上心。
- 求める資質は誠実さと向上心と責任感
- 実習を充実して欲しい。
- 素直に謙虚に学ぶ力を持つことが大事だと思います。
- 謙虚で素直な方、向上心もあればなお良い。
- 単なる「やり方」のみの暗記ではなく、「なぜ」を説明できる医学的な事実に基づいた行動の実践が重要と解釈いたします。
- 人間力を重要視しておりますが、コミュニケーション力やマナーなどをしっかり学んで頂けると有り難く思います。
- 失敗を恐れず色々なことにチャレンジすること。治療の答えは一つではないし常に考えて行動する必要があるから。自立した個人としての自覚。
- 観察、理解、考察、表現、行動の力量のアップ。
- レポート、プレゼン、ディベート等を専門教育過程において取り入れると総合的に力量がアップすると考えます。コミュニケーション能力、愛嬌があるかどうか
- コミュニケーション能力、協調性。理由 いかに関係者に寄り添えるかが重要だから。

設問6 短期大学在学中に実施してほしい 教育内容・教授方法 についてお聞かせください。また、その理由や取組のアイデアなどがあれば、お聞かせください。

- いまのままで十分だと思います。
- 女性として、結婚出産後に復職する社会的しくみの教育内容にあってもよいかと思います
- ①後々身に付いてくるものでも有りますし、個人差も有ると思いますが、社会人としての礼儀、マナー、責任、仕事と学生の違いなどについて学ぶ機会があると助かります。②滅菌や感染対策、器具の準備など、卒後すぐに臨床現場で覚えるのも大変ですし、臨床実習の時間も限られていると思います。また、歯科医院側は歯科衛生士不足や教育時間が足りない問題があります。そこで、例えば2年次に半年から1年程度、歯科医院での学生アルバイトの義務化をするのはいかがでしょうか。臨床実習の補強になり、歯科医院は少しでも知識のある人手が増え、学生はお給料が貰えます。実際に手にした器具や道具が知識とリンクして理解力がぐっと深まると思います。
- 臨床実習前に衛生士の仕事の面白さがわかる授業(先輩に来てもらって講義やちょっと医院見学に行くなど)とかあるといいと思います。
- 専門的な教育にとどまらず、茶道や楽器演奏などアートの教育の実施。
- 歯周治療において歯科衛生士はその役割を存分に発揮できると考えます。なのでその分野の知識、技術を在学中に少しでも磨いてほしい。
- 前述と同じだが、記憶ではなく理解と考察を深める経験を増やし自己成長が望めるような人材育成が必要かと考えます。
- 相互実習にて印象採得、石膏盛りをもっと時間を使って授業して頂いた方がいいのではないかなと感じております。
- 協調性、コミュニケーション能力をつけるため、グループディスカッション、目標遂行プログラムなど。

設問7 その他、本学へのご要望、メッセージ等がございましたら、お聞かせください。

- いつも、優秀な人材をご紹介くださりありがとうございます。
- 今後とも何卒宜しくお願い致します。
- 今後とも宜しくお願い致します。
- 今後も貴大学からの人材の確保を期待いたします。卒後報告会などを催していただき、他県で活躍する衛生士の現状報告を行うことにより、興味を持っていただきたいです。
- また次回求人希望する時はよろしくお願いいいたします。
- 資格よりも資質を重要視できる学生になって欲しい。
- また、今後とも衛生士さんの採用にさせて頂きたいです。宜しくお願い致します。